

ひらど

図書館へ行こう

本は、市内の図書館・図書室どこでも貸出・返却できます。

おすすめの新刊

『ともだちってどんなもの?』

さく／ほそかわてんてん
出版社／福音館書店

「がっこうのてんこちゃん」シリーズ第3弾。友だちいることも、一人でいることも、それぞれの良さがあり、いろんな考えがあっていいんだ!と気づかせてくれます。子どものころに寄り添う、楽しいおはなし全5話です。



『9歳から知つておきたい AIを味方につける方法』

監修／谷和樹
編／TOSS AI活用教育研究会

出版社／マイクロマガジン社
生成AIとは、人間のように文章を書いたり、絵を描いたりする「人工知能」のことです。長所・短所、安全な使い方をお子さんと一緒に学ぶのにぴったりの子どもにも分かるよう解説された入門書です。



『いちにちおこめ』

さく／ふくべあきひろ
え／かわしまななえ
出版社／PHP研究所

日本人の食生活に欠かせない、お米。「どうやって作っているの?」という疑問から、お米になってみた!一粒のお米が出来上がるまでの工程を面白おかしく描いた人気絵本シリーズの最新刊です。



『かぎ針で編むクリスマスのオーナメント』

発行／アップルミンツ
発売／日本ヴォーグ社

今年のクリスマスは手作りに挑戦してみませんか。雪だるまや雪の結晶モチーフ、カラフルな模様の靴下など、ツリーに飾るかぎ針で編むオーナメント小物の図案を多数掲載しています。



『小泉八雲のレシピ帖』

著／小泉八雲 監修／河島弘美
訳／鈴木あかね
出版社／CEメディアハウス

一日一話、どこからでも気軽に読むことのできる365日分の雑学教養がつまた十冊。伝統文化、神話、仏事から食文化、大和言葉など、日本人が忘れてはいけない事柄をまとめた、古きよき日本の素晴らしいを紹介しています。



『365日の日本道』

著／365日の日本道製作委員会
出版社／あさ出版

一日一話、どこからでも気軽に読むことのできる365日分の雑学教養がつまた十冊。伝統文化、神話、仏事から食文化、大和言葉など、日本人が忘れてはいけない事柄をまとめた、古きよき日本の素晴らしいを紹介しています。



図書館のイベント情報

会場	主なイベント	開催時間
平戸図書館	おはなし会（おはなしのへや）	毎週日曜 午後2時～
	赤ちゃんおはなし会（おはなしのへや）	10日(水)・24日(水) 午前10時30分～
	「みんなdeシネマ」（未来創造館ホール） 『スイッチ人生最高の贈り物』(韓国・字幕:112分)	13日(土)・25日(木) 午後2時～
	ライブラリーコンサート(平戸図書館) ■今月の出演は、パヤラ松尾&椎木英子の二人による「映画音楽特集」です。どうぞお楽しみに!(予定)	20日(土) 午後7時～
永田記念図書館	おはなし会（永田記念図書館）	毎週土曜 午後2時～
	脳トレ教室（永田記念図書館）	1日(月) 午前10時～
	クリスマスおたのしみ会(ふれあいセンターゆめホール)	20日(土) 午前10時～

今月の休館日 永田記念図書館：2日(火)・9日(火)・16日(火)・23日(火)、年末年始28日(日)～1月3日(土)
平戸図書館：年末年始28日(日)～1月3日(土)

各図書館・図書室連絡先

平戸図書館	☎22-4017
永田記念図書館	☎22-9182
南部公民館図書室	☎22-9191
生月図書室	☎22-9202
田平町中央公民館図書室	☎22-9211
大島村公民館図書室	☎55-2511

図書館ホームページ

<http://www.hirado-lib.jp>
スマートフォンなどから二次元コードを読み込んで簡単にアクセスできます。



まち協トピックス 12月のイベント情報をピックアップ

12月のまち協の取り組みにご注目ください!

問 企画課地域振興班 ☎22-9105

◆星のきらめきフェスタ

とき 12月7日(日)午後1時～午後4時

ところ 生月船員福祉会館2階

ヤカーリング大会、bingo大会、チャリティバザー、豚汁の無料配布などさまざまなイベントを実施します。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。なお、浜緑地公園では、12月1日(月)～令和8年1月10日(土)までイルミネーションを点灯しています。

NPO法人山田・館浦地区まちづくり運営協議会 ☎53-1550



◆さくらば公園イルミネーション点灯

とき 12月8日(月)～令和8年1月22日(木)午後5時～午後10時

ところ さくらば公園(戸石川町)

さくらば公園でイルミネーションを点灯します。新たなイルミネーションも多数設置します。華やかになったイルミネーションをお楽しみください。



平戸まちづくり運営協議会 ☎22-7080

※掲載しているイベントの開催については、変更となる場合があります。



平戸市の自然や文化、歴史的遺産の魅力を紹介

平戸学講座 vol.12

生月島の未来への挑戦!

1950年代以降、プラスチックが急速に普及しました。プラスチックは、木や麻などの自然素材に比べ腐りにくく、水に浸かっていることの多い漁労具(漁に使う道具)も多くがプラスチック製になりました。

このため、長持ちするようになり手入れの手間が減りましたが、腐りにくいがゆえに、ゴミとして処理しにくく、海に流れ出たときに永久的に残ってしまうことで地球規模の環境問題になっています。

平戸でも、海岸に多くのゴミが流れ着いており、その中には漁労具も見られます。

生月島では、こうしたプラスチックゴミの問題に対処しようと、使えなくなった漁網を集め、新たなプラスチックの原料(ペレット)を作るために、洗浄し出荷しています。

問 文化交流課文化遺産班 ☎22-9143

漂着したプラスチックゴミ

